



大河小だより

小川町立大河小学校
令和7年11月7日 第20号
文責 校長 宮澤 忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

【学校教育目標】 ○ 自ら学ぶ子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）

【年間生活目標】 「あいさつを広げよう」 「健康な生活を心がけよう」

【11月の生活目標】 「進んで体をきたえよう」

持久走大会に向けた取り組みが始まりました

運動会が終わった後、子供たちはグラウンドに出て走る姿をよく見かけます。1日に走る距離を決めて走る高学年や、高学年の姿を見た中学年・低学年の走る姿もよく見かけます。

学習指導要領では、「体つくり運動系」の中で、「一定の速さでのかけ足（低学年は2~3分、中学年は3~4分）、高学年は「無理のない速さで5~6分程度の持久走をする」とされています。

11月の生活目標は、「進んで体をきたえよう」です。子供たちは、業前の時間や体育の授業、そして業間休みの時間（「わんぱくタイム」）を利用してグラウンドを自分のペースと目標を決めて走っています。

走る様子を見ていると、担任の先生と一緒にがんばって走っている子や、先生から励まされ、勢いよくスピードをあげる子もいます。「今日は10周走れたよ！」「やったあ。昨日よりも1周多く走れた。」などと言って、嬉しそうに報告してくれる子供たちもいます。一生懸命に走った後の子供たちの額からは、じんわりと汗がにじんでいます。それほど一生懸命にがんばったんだと感心するばかりです。

子供たちと一緒に走って、がんばっている子供たちは、体力の向上以上に、「きつくてもあきらめない心や粘り強く最後までやり抜く力」が身に付いていると感じます。「一つのことに一生懸命に取り組める人は、何に対しても一生懸命に取り組める。だから結果として、何にでもよい成果をあげることができる。」と考えております。

持久力・体力向上、粘り強くやり抜く心の育成のために、もうしばらく持久走の練習は続きます。各家庭でも持久走を話題にして、褒めたり励ましたりしていただければ、子供のやる気はさらに高まると思います。

持久走大会は、11月27日（木）に開催します。時間の都合がつく方は、参観していただき、子供たちへ声援をお願いします。



準備運動をしている6年生



グラウンドを走る2年生



グラウンドを走る3年生

運動会の応援団員の紹介

運動会を盛り上げてくれた応援団員を遅くなりましたが紹介をします。

赤組		青組	
団長	さん (6年)	団長	さん (6年)
副団長	さん (6年)	副団長	さん (6年)
副団長	さん (5年)	副団長	さん (5年)
旗手	さん (6年)	旗手	さん (6年)
太鼓員	さん (6年)	太鼓員	さん (6年)
団員	さん (5年)	団員	さん (5年)
団員	さん (5年)	団員	さん (5年)
団員	さん (4年)	団員	さん (4年)
団員	さん (4年)	団員	さん (4年)
チア	さん (6年)	チア	さん (6年)
チア	さん (6年)	チア	さん (5年)
チア	さん (5年)	チア	さん (5年)
チア	さん (5年)	チア	さん (4年)
チア	さん (4年)	チア	さん (4年)
チア	さん (4年)	チア	さん (4年)

応援団の皆さん、運動会のために休み時間を使って練習してくれてありがとうございます。

大河保育園の皆さんが見学に来てくれました

運動会前の10月16日(木)、大河保育園の園児全員が本校を訪れ、2時間目に実施していた1・2年生の運動会練習を見学しました。1・2年生の子供たちがリズムダンスの練習に取り組んでおり、園児たちはその様子を興味深そうに見守っていました。

園児たちは、音楽に合わせて自然と手拍子をしたり、1・2年生の踊りが終わると温かい拍手を送ったりしてくれました。そのような反応を受け、1・2年生の子供たちもとても嬉しそうな表情をしてくれていたのが印象的でした。お互いの存在が良い刺激になり、練習に前向きに取り組む姿勢を後押ししてくれたように感じます。

また、保育園の先生や園児が、大河小に通っている卒園児を探す姿も見られ、「○○ちゃんがあそこにいるよ」といった声も聞こえてきました。

今回のような地域との交流は、子供たちにとっても園児にとっても貴重な経験となります。今後も地域や保育園とのつながりを大切にしながら、子供たちの成長を支えてまいります。



1・2年生の演技を見学している保育園の先生と園児

縦割り掃除もがんばっています

2学期も「縦割り掃除」に取り組んでいます。縦割り班で協力して学校をきれいにしています。掃除の仕方を教える上級生の口調や表情は、とても優しいです。下級生の世話をすることで、上級生は、上級生としての自覚が育っているのだと思います。また、下級生も素直に上級生の教えを守って掃除ができます。

縦割り掃除を通して支え合うこと、相手を思いやることの大切さを学んでいます。



膝について雑巾がけをしています